

第97回資産運用委員会 議事要旨

1. 日時：令和5年3月9日（木）15：00～16：30
2. 場所：KKRホテル東京 11F 丹頂
3. 参加者：神野委員長、臼杵委員長代理、小野委員、小幡委員、白須委員、菅原委員、山崎委員
4. 議事要旨

（1）令和5年度事業計画について

事務局から、厚生年金保険給付積立金、退職等年金給付積立金の運用に関する令和4年度実績見込みと令和5年度事業計画について、それぞれの資金計画とそれを踏まえた資産構成割合と運用利回りの説明があり、事務局案の方向で進めることが確認された。

委員からは、以下の意見があった。

- ・本来、年金運用の考え方はベンチマークに基づきアセットアロケーションを考え、それに基づきリスクを計算するものである。

厚生年金保険給付積立金の国内債券は、預託金の償還が進み、構成割合が25%を大きく下回る状態になり、普通のアセットアロケーションとして考えられるようになってきていることから、今後は、サイズが小さくなる預託金を含めた国内債券全体として、よりベンチマークを踏まえた運用を考えるべきではないか。

- ・現状、国内債券市場の動向は予測し難い状況が続いており、様々な対応が考えられるが、ベンチマークからの乖離を意識し、例外的な対応をとることがあれば、きちんと説明責任を果たせるよう慎重に運用にあたって頂きたい。

（2）外債時価誤りによる厚生年金保険給付積立金の令和3年度業務概況書への影響について

事務局から外債時価誤りによる令和3年度業務概況書への影響について報告があった。

以 上